

国で検討

- 制度的枠組みや基本的な対策方針の具体化を推進

大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会

- 大規模災害に向け、全国・地域レベルで十全な備えをすべく、対策と課題を取りまとめ。

技術・システムWG

- 首都直下地震への、標準処理フローと想定発生量推計の適用
- 昨年度WGの成果の高度化

要処理量WG

- 国及び被災地域が発災後にそれぞれ使用する発生量推計の手法の検討

人材育成WG

- 人材育成・訓練プログラムのあり方の検討

地域間協調WG

- 地域ブロック協議会を活用し、自治体間、産官学、ボランティア・住民との連携を強化

ネットワークのあり方を検討

成果を継続的に発信

- 地域WGの成果は随時現場に反映
- 現場の課題は随時地域WGで検討

現場で対策を実行

- 地域ブロックを中心に、災害廃棄物対策を実行

D.Waste-Net(仮称)【平成27年夏設立】 (災害廃棄物処理支援ネットワーク)

- 発災時に現地入りして処理計画策定等を支援
 (国立環境研究所、廃棄物資源循環学会、自治体担当官、環境省担当官、技術者 等)
- 被災地域と民間事業者の連携をサポート
 (各種業界団体(全産連、日建連 等))

国立研究開発法人
国立環境研究所
National Institute for Environmental Studies

災害廃棄物
情報プラット
フォーム

連携
協力

- 防災関係ボランティア
- 環境部局以外の自治体関係者、地域団体 等

地域ブロック
協議会 等

※全国8か所
※構成メンバー：
環境省、国機関、自治体
事業者、専門家等

地域の実情に応じて、

- 防災訓練の共同開催
- 地域ブロック行動計画や地域での処理施設の有効活用の検討に着手
- 協定の拡充 等